

2021 年度版
あいち ICT 戦略プラン 2020
年次レポート
(2020 年度分)

2021 年 12 月

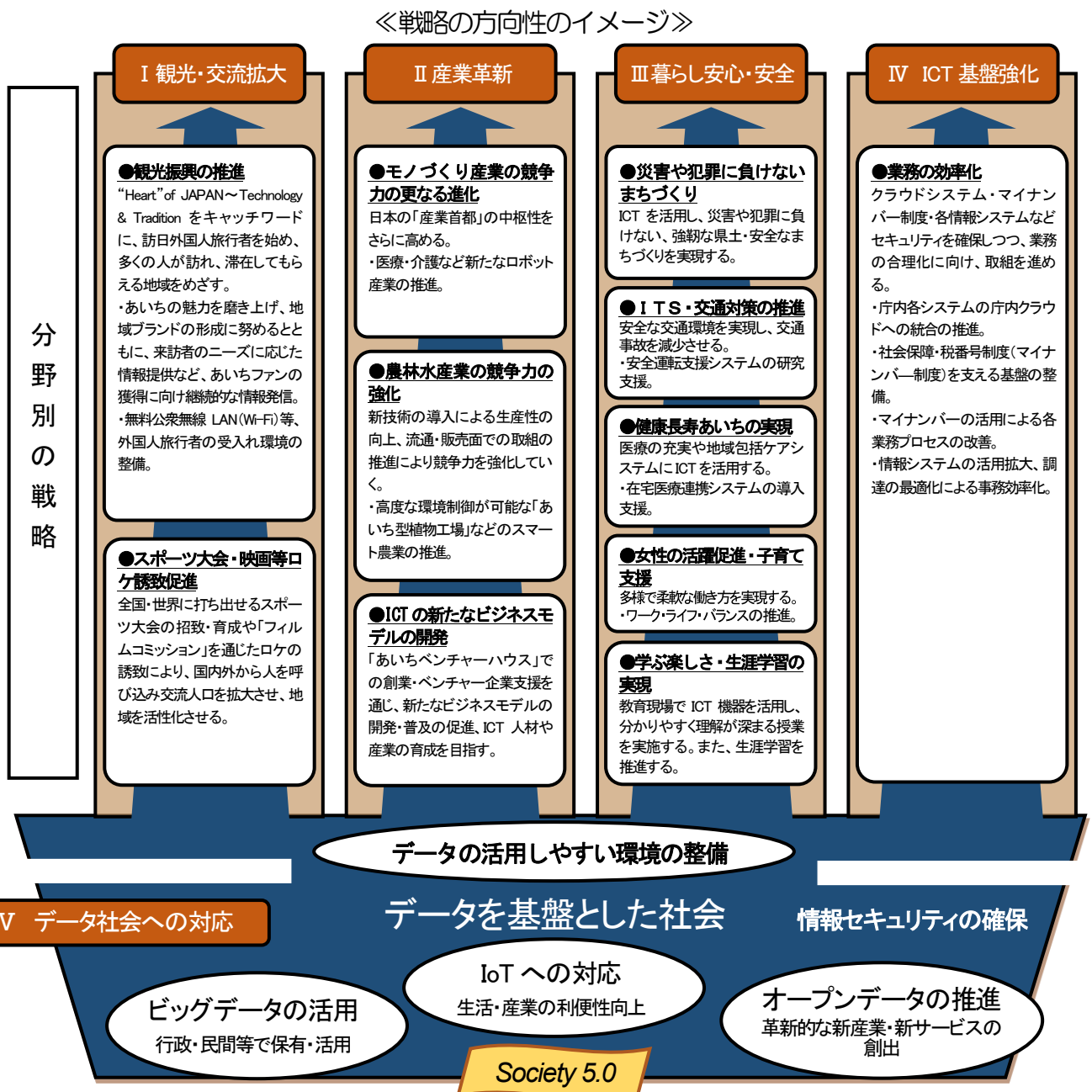
第1章	あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要と年次レポートの趣旨	1
第2章	あいち ICT 戦略プラン 2020 の取組実績	3
第3章	2020 年度の主な施策の実施状況	5
(参考)	取組を紹介した Web サイトの一覧	23

第1章 あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要と年次レポートの趣旨

1 あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要

ICT 環境の、急速かつ大きな変化に的確に対応し、県が戦略的に展開する施策を ICT の活用で達成していくため、愛知県では2016年（平成28年）3月に「あいち ICT 戦略プラン 2020」（以下「ICT 戦略プラン」という。）を策定しました。「あいちビジョン 2020」の「めざすべき愛知の姿」の実現を支えていくことを基本方針とし、各計画で定めた具体的な目標の達成を支援することで、「あいちビジョン 2020」の「日本一の元気を暮らしの豊かさに」の実現を目指します。

戦略の方向性として、本県が取り組むべき4つのテーマ（観光・交流拡大、産業革新、暮らし安心・安全、ICT 基盤強化）が抱える課題について、最新の ICT の活用による課題解決を図るため、戦略的に施策を展開することとしています。また、この戦略的取組の前提となる「データ社会への対応」についても併せて整理することとしています。



なお、「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」を受けて、2020年（令和2年）3月に「愛知県官民データ活用推進計画」（以下「官民データ活用推進計画」という。）を策定し、「ICT戦略プラン」の一部として位置づけました。

官民データ活用の推進に関する施策については、5つの取組「オープンデータの推進」「行政デジタル化」「行政手続オンライン原則化」「マイナンバーカードの普及及び活用」「デジタルデバインド是正」を柱としています。

2 年次レポートの趣旨

本県が取り組むべき4つのテーマとデータ社会への対応における主な取組を報告するとともに、今後の計画策定や計画を進める上での課題を確認し、計画を進行管理するために、年度毎に年次レポートを作成しています。

本書は、「ICT戦略プラン」の最終年度となる2020年度についての年次レポートであり、計画期間全体の取組状況と2020年度の主な施策、「官民データ活用推進計画」の取組についても併せて報告します。

○ 年次レポートで取り上げている取組の詳細について

3章で取り上げている取組の中で、関連する Web サイトが公開されている取組は、本文中と巻末に Web サイトの URL と QR コードを掲載しています。

取組の詳細について御興味を持たれた場合は、掲載された Web サイトを御覧ください。

Web ブラウザに URL を入力していただくか、スマートフォンのカメラ等で QR コードを読み取ることで、それぞれの Web サイトにアクセスできます。

第2章 あいち ICT 戦略プラン 2020 の取組実績

1 2020 年度までの取組状況と対象施策

- 取組状況は、「進展」＝継続して進展した項目、「完了」＝2020 年度に取組完了・終了した項目と2019 年度までに取組完了・終了した項目を表します。
- あいち ICT 戦略プラン 2020 に掲げた 169 項目の施策展開のうち、135 項目が進展し、34 項目が2020 年度までに完了しています。また、2019 年度末から追加した「官民データ活用推進計画」については、22 項目の施策展開のうち20 項目が進展し、2 項目が完了しています。
- 県が取り組むべき4 つのテーマ（観光・交流拡大、産業革新、暮らし安心・安全、ICT 基盤強化）に対し ICT の活用による課題解決を図り、同時に取組の前提となる「データ社会への対応」も順調に進んだといえます。

【あいち ICT 戦略プラン 2020】

テーマ	取組状況		項目数	対象施策
Ⅰ 観光・交流拡大	2020	進展	35	・動画広告配信による観光デジタルマーケティングの実施 ・国際芸術祭「あいち2022」に関する情報を発信 等
		完了	1	・ユニバーサルツーリズム推進のための研修の実施
	～2019	完了	6	・「G20 愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会」Web サイト運用 等
Ⅱ 産業革新	2020	進展	29	・SNS 等を活用した県産農林水産物のPR 等
		完了	1	・「あいちオープンイノベーションアクセラレーター」におけるスタートアップ支援（★）
	～2019	完了	6	・あいち型植物工場の普及支援 等
Ⅲ 暮らし安心・安全	2020	進展	48	・自動運転の実証実験の実施 ・「貴重和文デジタルライブラリー」の拡充 等
		完了	2	・へき地医療支援システムの運用 ・あいちエコアクションポータルサイト「エコリンクあいち」の運営
	～2019	完了	10	・水防テレメータ機器更新 等
Ⅳ ICT 基盤強化	2020	進展	17	・全所属を対象とした音声認識システムの運用 ・RPA システムの本格導入 等
		完了	7	・建設行政情報システムの庁内クラウドへの移行 等
Ⅴ データ社会への対応	2020	進展	6	・オープンデータカタログの充実 等
		完了	1	・ビッグデータを活用した東三河地域の観光客の動向調査
合計			169 項目のうち、進展 135 項目、2020 年度完了 4 項目、2019 年度以前に完了 30 項目	

★後継事業がある取組

【愛知県官民データ推進計画】

テーマ	取組状況	項目数	対象施策
(1) オープンデータの推進に係る取組	進展	7	・交通事故統計情報のオープンデータ化の推進 等
	完了	1	・「愛知県史」のオープンデータ化
(2) 行政デジタル化に係る取組	進展	3	・ペーパーレス化の推進 等
(3) 行政手続オンライン原則化に係る取組	進展	3	・「あいち電子申請・届出システム」の活用推進 等
	完了	1	・行政手続の糊貼し
(4) マイナンバーカードの普及及び活用に係る取組	進展	2	・マイナンバーカードの普及・活用に関する広報 等
(5) デジタルデバイド是正に係る取組	進展	3	・県公式 Web サイトの Web アクセシビリティ対応状況調査 等
(6) その他の取組	進展	2	・県内企業・団体へのテレワークの促進・普及 等
合計			22 項目のうち、進展 20 項目、2020 年度完了 2 項目

2 2021 年度以降の展開

2020 年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、各地でテレワークやオンライン会議が広く活用される一方、行政分野でのデジタル化の遅れが浮き彫りになってきました。

国は、社会全体のデジタル化に向けて省庁横断的に取り組むこととし、各省庁や各地方公共団体ごとに個別に構築されてきた情報システムの標準化に着手するなど、デジタル化に向けた動きを加速させています。

こうした社会、国の動きを受け、「あいち ICT 戦略プラン 2020」の残された課題に継続的に取り組みつつ、行政のデジタル化やデータ活用の推進、更には県域全体のデジタル化に向けた支援、そのために必要不可欠なデジタル人材育成などを迅速かつ計画的に進めるため、「あいち DX 推進プラン 2025」を 2020 年 12 月に策定しました。

「あいち DX 推進プラン 2025」では、「あいちビジョン 2030」や「あいち行革プラン 2020」の取組を ICT の利活用により加速させ、デジタル・トランスフォーメーションを推進するプランとして位置付け、以下の 4 つの視点・柱のもと、これに対応した 6 つの主要取組事項について取り組むこととしています。

視点・柱	主要取組事項
県行政の効率化・DXの推進 (県民の利便性向上)	1 先進的な ICT を取り入れた業務変革
	2 ICT 環境のモバイル化
	3 行政手続のデジタル化
データの活用	4 官・民における積極的データ活用
県域 ICT 活用支援	5 県全体の情報化の推進
デジタル人材育成	6 デジタル人材の育成

<取組の内容>

1	◆AI・RPA 等のデジタル技術の活用による業務効率化の推進 ◆クラウド・バイ・デフォルト原則を踏まえた情報システムの整備 ◆情報システムの構築・更新時における技術トレンドへの対応	4	◆オープンデータ化の促進 ◆データ分析・活用 ◆行政データ連携の推進
	2	◆デジタル・ワークスタイルの実現のための環境の整備 ◆情報・知識の共有化	5
3		◆行政手続等のオンライン化 ◆マイナンバーカードの普及、利活用の推進等	6

なお、「あいち DX 推進プラン 2025」は、「愛知県官民データ活用推進計画」としても位置付けられるものです。

第3章 2020年度の主な施策の実施状況

本章では、2020年度の特徴及び実施した主な取組の内容を報告します。
取組の詳細について御興味を持たれた場合は、掲載されたWebサイトを御覧ください。

I 観光・交流拡大分野

観光地のPR動画の視聴者の年齢・特性等の分析を用いる「デジタルマーケティング」の実施や「Aichi Free Wi-Fi 施設マップ」の公開等による利便性の向上により、来県者数や観光消費の増加等に取り組みました。

また、「愛知の住みやすさ発信サイト」を活用した魅力発信により、愛知県への人口流入・定着を促進しました。

II 産業革新分野

名古屋市等と連携して組織した「あいち・なごやスタートアップ海外連携促進コンソーシアム」による事業連携の支援や、「知の拠点あいち」を中心とした産学行政の連携による共同研究開発プロジェクトの推進の実施などにより、産業の競争力強化に貢献しました。

また、「スプレーギクの国際競争力を高める産地革新に係る実証」及び「木材需給情報システム」を利用した効果検証などの事業を通して、農林水産業の競争力の強化を図りました。

III 暮らし安心・安全分野

「へき地医療支援システム」の運用や、LINE 公式アカウント「愛知県—新型コロナ対策パーソナルサポート」による新型コロナウイルス感染症に関する情報提供を行い、県民の健康を支える取組を行いました。

さらに、市内の「テレワーク環境整備」の推進や、「児童生徒用のタブレット端末の配備」により、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による急速な社会・生活様式の変化への対応を行いました。

IV ICT 基盤強化分野

「マイナンバーカードの普及・活用」を促進するため、広報紙やテレビ・ラジオなどを活用した広報を行いました。

また「音声認識システム」の全所属を対象とした運用や「RPA システム」の本格導入により、ICT の活用による行政事務の業務効率化を推進しました。

V データ社会への対応分野

「愛知県オープンデータカタログ」サイトの提供データ拡充等の取組を行いました。

● 愛知県官民データ活用推進計画

官民データの活用推進のため、県が保有する情報のオープンデータ化の推進及び、会議のペーパーレス化等の行政のデジタル化を進めました。また、県が所管する行政手続等の調査や、マイナンバーカード普及促進の広報を実施し、行政手続等のオンライン化に向けた取組を行いました。その他にも、誰もが県政情報を取得できるよう、県公式Webサイト「ネットあいち」のアクセシビリティ対応状況の調査を行いました。

I 観光・交流拡大

今後、急速な人口減少・高齢化が見込まれる一方、国内外から人を呼び込み交流人口を拡大することで、地域を活性化し、新たな産業や雇用の創出につなげることが求められています。

地域ブランドを形成し、あいちファンの増加につなげるためには、本県固有の観光資源や文化・芸術・特産品などを、Web サイト、SNS など多様な媒体を活用することにより、より充実した広報活動を実施する必要があります。また多くの外国人に対して本県観光地の PR を行うために、多言語での情報発信が求められています。

【ICT 戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
1-1 観光振興の推進	・Web サイト、SNSによる観光関連情報の充実 ・外国人旅行者の受入環境整備 等
1-2 スポーツ大会・映画等口 ケ誘致促進	・スポーツ大会・合宿等の誘致 ・大規模イベントの誘致・開催 等
1-3 情報発信力の強化	・「ネットあいち」を始めとする、Web サイトの活用 ・デジタルサイネージなど多様なメディアの活用

【1-1 観光振興の推進】

Web サイト、SNSによる観光関連情報の充実

- 動画広告配信による観光デジタルマーケティングの実施



「観光地としての愛知県」の認知度向上を図るため、県内の特色ある観光地を PR する動画を制作し、YouTube 上で動画広告配信を行い、動画視聴者の属性（年齢・特性等）の分析を行いました。

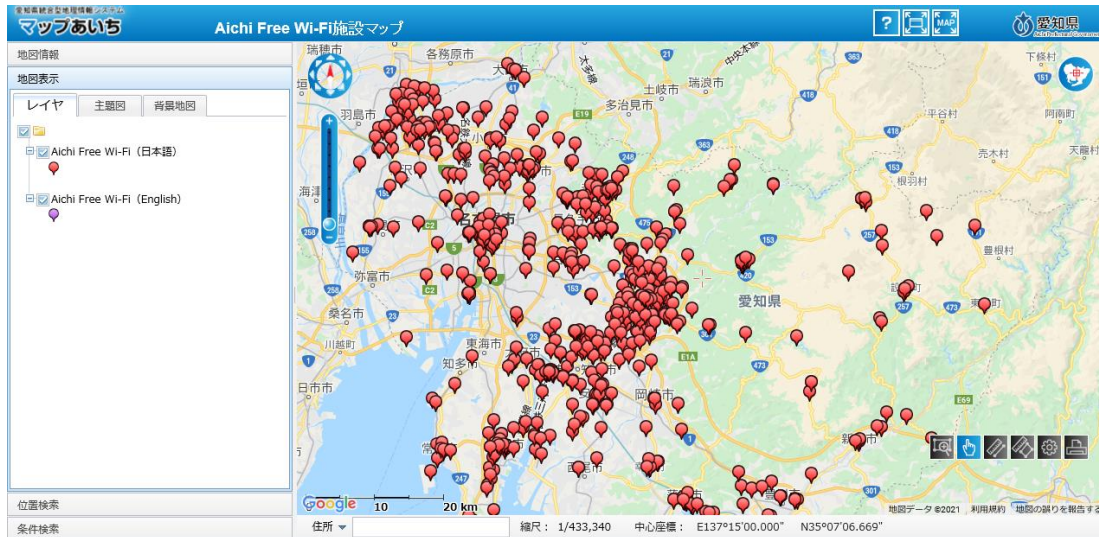
動画の視聴回数：675万回

外国人旅行者の受入環境整備

○ 無料公衆無線 LAN 環境の整備

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/0000085106.html>)

あいち無料公衆無線LAN推進協議会の運営を通じた Wi-Fi 環境の整備促進に向けた活動や、Aichi Free Wi-Fi 施設マップの公開を行いました。



【1-2 スポーツ大会・映画等ロケ誘致促進】

スポーツ大会・合宿等の誘致

○ 愛知県のスポーツ大会情報等を発信する Web サイト、SNS 等の運用

(<https://aichi-sports.jp/>)

スポーツ大会などへの参加者・観戦者の利便性の向上のため、Web サイト「aispo!」では、県内のスポーツ大会情報やプロスポーツチーム・実業団チームの情報を発信するとともに、Facebook, Twitter, Instagram を活用してリアルタイムに配信を行いました。

また、あいちスポーツコミッション情報サイトでは、スポーツ施設の情報やスポーツ大会の開催実績、各市町村によるスポーツ大会・合宿支援メニューを掲載しました。



2020年度のWebサイト閲覧件数
214,086件

大規模イベントの誘致・開催

- 国際芸術祭「あいち2022」に関する情報を発信
(<https://aichitriennale.jp/>)

2022年度に、本県で開催する国内最大級の国際的な現代アートの祭典国際芸術祭「あいち2022」の情報を、公式Webサイト、SNSを活用して発信しました。



情報発信数

Webサイト：6 ツイッター：12 フェイスブック：6 インスタグラム：6



【1-3 情報発信力の強化】

「ネットあいち」を始めとする、Webサイトの活用

- 「あいちの住みやすさ発信サイト」による魅力発信
(<https://www.pref.aichi.jp/chiho-bosei/sumiyasusa/>)

他の大都市圏に比べた愛知の強みである「住みやすさ」について、これから居住地を選択していく大学生などの若年層を中心に広くPRし、愛知への人口流入・定着を促進しました。



2020年度のWebサイト閲覧件数
21,797件



II 産業革新

日本の「産業首都」として、引き続きわが国の産業・経済を牽引していくためには、研究開発機能の強化により、産業を支える革新的技術のレベルを引き上げ、付加価値を高めていくとともに、新たなイノベーションを継続的に創出していくことが欠かせません。

県では、基金による支援を行うことで、自動車産業、航空・宇宙産業、ロボット産業の振興を図り、モノづくりの競争力を高めることで、新たな産業の創出につなげます。また、農林水産業やサービス業の分野についても、最新のICTの活用により、競争力を高めていくよう、成長を促していきます。

【ICT 戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化	・創業の支援、開発・立地の促進 ・モノづくり人材の育成 等
2-2 農林水産業の競争力の強化	・特産品のPR強化 ・効率的な森林整備 等
2-3 ICT の新たなビジネスモデルの開発・人材育成	・IT 産業の支援・創業支援 ・ICT スキルを持つ人材の育成
2-4 商業の活性化	・商店街情報の発信強化

【2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化】

創業の支援、開発・立地の促進

- 「あいち・なごやスタートアップ海外連携促進コンソーシアム」による事業連携支援 (<https://www.aichi-nagoya-startups.jp/>)

2020年4月に名古屋市等と「あいち・なごやスタートアップ海外連携促進コンソーシアム」を立ち上げ、県内スタートアップの海外展開や県内企業と海外スタートアップとの連携に向けた支援を行いました。

海外スタートアップとの協業を目指す愛知県内企業や海外展開を目指す愛知・名古屋スタートアップを対象に、セミナーや海外展開支援プログラムを実施したほか、海外スタートアップと当地域のモノづくり企業等とのオンライン商談会を実施しました。



①相談件数：91件

②セミナー等の参加者人数：253名

③商談件数：56件 ④取引・提携件数：15件



- 「知の拠点あいち」を中心とした産学行政の連携による共同研究開発プロジェクトの推進
(<http://www.astf-kha.jp/>)



「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」は、オープンイノベーションにより、大学等の研究シーズを活用して県内主要産業が有する横断的な課題を解決し、新技術の開発・実用化、新たなサービスの提供、そして、次世代産業の創出を目指す産学行政連携の研究開発プロジェクトです。

2020年度は第三期（2019～2021年度）にあたり、近未来自動車技術開発プロジェクト部門では、自動車の電動化、情報化、知能化及びMaaSといった100年に1度の大変革期に対応するため、高性能なインバータやモータ等の開発を進めるとともに、自動運転の実現と先進プローブデータを活用した交通安全に貢献する技術開発に取り組みました。



モノづくり人材の育成

- 「組み込みシステム科」の実施
(<https://www.aichivti.ac.jp/site/nagoya/1027.html>)

DXが加速する中で中小企業のニーズに対応したデジタルを活用する人材の育成を図るため、名古屋高等技術専門学校において「組み込みシステム科」を2019年度に設置し、訓練を実施しました。

「組み込みシステム科」とは、IoT技術者となるための基礎的な技術を習得する学科です。ソフトウェア開発技術者、プログラマー及び電気・電子・電気通信機器生産技術者関連職種への就職を目指しました。

2020年度 就職率：100% 入校者数：19名



【2-2 農林水産業の競争力の強化】

農業生産技術の開発・普及

- スプレーギクの国際競争力を高める産地革新に係る実証

(https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/smart_agri_pro.htm)

農林水産省では、ロボット・AI・IoT等の先端技術を実際の生産現場に導入して、技術の導入による経営改善の効果を明らかにすることを目的にスマート農業実証プロジェクトを行っています。(令和元年度から3年度にかけて182地区で取組)

愛知県では、令和元年度より当該プロジェクトに参画し、実証事業に取り組んでいます。

2020年度から2021年度にかけては、スプレーギクの安定供給を図るため、ICT技術を用いた作付の最適化、データに基づく環境制御、生産・労働管理の効率化により、①収量10%増大、②スプレーギク1本あたりの労働時間5%短縮を目指して実証を行っています。



実証する技術体系の概要

要素技術 ①作付計画システム、②労務管理システム、③環境制御システム

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント							①					
							②					
							③					

① 作付計画システム
(㈱コム・エンジニアリング)

② 労務管理システム
(㈱アグリトリオ)

③ 光合成チャンパー
(国立大学法人豊橋技術科学大学)

③ 環境制御システム
(イノチオアグリ㈱)

特産品のPR強化

● SNS等を活用した県産農林水産物のPR

近年、大幅に利用者が増加しており、情報の拡散効果も期待できるSNS等を活用し、有力なインフルエンサーを起用して、県産農林水産物を使用したレシピ投稿、メニューキャンペーン告知により、県産農林水産物の知名度向上とイメージアップによる需要拡大を図りました。

リーチ数：139,862回

効率的な森林整備

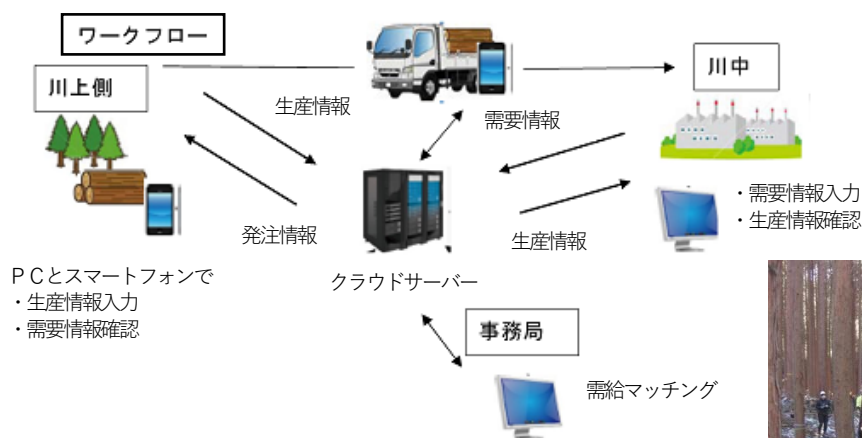
● あいちのスマート林業の推進

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/ictringyou.html>)

2018年度に作成した「あいちのICT林業活性化構想」に基づき、ICTを活用して木材生産や森林整備等の効率化、省力化に取り組み、県内の林業・木材産業の成長産業化を目指します。

2020年度は、前年度に仕様を決定した木材需給情報システムを使用し、木材の生産情報と発注情報を共有することで新たな木材需給体制の効果検証を行いました。

また、航空レーザ計測データを活用して低コスト木材生産が可能な木材生産現場の特定作業と必要な路網整備計画等検討を行い、「あいちのスマート林業実践モデル」をとりまとめました。



木材生産量（2020年度）：177千立方メートル



【2-3 ICTの新たなビジネスモデルの開発・人材育成】

IT 産業の支援・創業支援

- 「あいちオープンイノベーションアクセラレーター」におけるスタートアップ支援
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/startup/result-accelera20.html>)

「Aichi - Startup 戦略」(2018 年 10 月策定)に基づく取組の一環として、「あいちオープンイノベーションアクセラレーター事業」を2018年度から2020年度まで実施しました。

本事業では、全国から募集した革新的技術や新たなビジネスモデルを有するスタートアップを選定し、5か月間にわたる集中的支援を行うとともに、資金調達、愛知県企業とのオープンイノベーションに繋げる場を提供するアクセラレータープログラム(※1)を実施しました。

2020年度は、オープンイノベーションパートナー(※2)及び事業サポーター(※3)を同時に募集することで、新規事業開発や実証実験に繋がる機会を更に促進するプログラムとして展開しました。



- ※1 ICT・IoT、AI等を活用する革新的な技術・アイデアを有するスタートアップに対して出資や支援を行うことにより、イノベーションの創出や新事業展開を目指すプログラム。愛知県では、特にスタートアップをこの地域に誘引し、県内モノづくり企業とのオープンイノベーションの創出を目指す事業として展開。
- ※2 スタートアップとの共創により新規事業 開発や実証実験を行うことを目的とする事業会社。
- ※3 実証実験支援などスタートアップを広く支援する事業会社、金融機関等。

参加スタートアップの事業連携・出資獲得件数 9件



III 暮らし安心・安全

社会生活の基盤となったICTを防災・防犯、医療、教育など、県民の暮らしに役立て、「暮らしの豊かさ」に繋げていくことが重要となっています。人口を維持し、暮らしやすい環境を守るため、地震や風水害への対策や、高齢者や女性・子どもへの防犯対策には、細やかな情報伝達が重要です。交通安全対策、健康づくりの推進など、超高齢化社会への対応も必要です。さまざまな地域の課題に対し、ICTを活用して取り組んでいきます。

【ICT戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり	・災害時における情報伝達 ・ネット犯罪対策 等
3-2 ITS・交通対策の推進	・ITS等の研究支援・普及・拡大
3-3 健康長寿あいちの実現	・企業等における健康経営の支援 ・地域包括ケア 等
3-4 女性の活躍促進・子育て支援	・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・結婚・子育て支援 等
3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現	・魅力ある授業の実施 ・Web サイトを通じた学校・図書館・生涯学習情報の提供 等
3-6 「環境首都あいち」の実現	・エコアクションの促進 等

【3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり】

子供たちや女性の安全確保

● サイバー犯罪対策教材の非接触デジタル版の公開

(<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/game/digitalgame.html>)

小学校高学年を対象としたゲーム形式の教材「サイバーポリスゲーム」のデジタル版を公開しました。このデジタル版は、サイバーポリスゲームを電子黒板やモニターなどに映すことで、児童が距離を保ち、正面を向いたまま参加しやすいものとなっています。

この教材をとおして、インターネット上で発生するトラブルに対し、どうすれば巻き込まれないかを自ら考え、また他の児童の考えを聞くことでいろいろな考えを知り、自らスマートフォンの危険性について学習することを目的としています。



【3-2 ITS・交通対策の推進】

ITS等の研究支援・普及・拡大

○ 自動運転の実証実験の実施

(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/373464.pdf>)

2020年度は、自動運転の実用化に向けた取組を更に加速するため、商用5G（※）、中部国際空港島全域での一か月程度の長期の運行、感染症対策を踏まえた車室空間のあり方にも配慮した自動運転コンセプト車両の検討など、社会実装のあり方を技術面、運用面の両面から追求する導入シミュレーションを 県内3地域において実施しました。

（※）商用5G

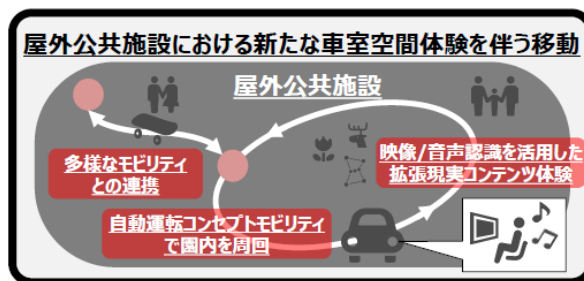
通信キャリアがサービスとしてスタートした第5世代移動通信システム。高速・大容量が特徴

自動運転社会実装実証のフィールドとテーマ

2020年度は3か所でテーマを設定し実施



2020/10/3～10/18（木・金・土・日に実施）
常滑市 中部国際空港島



2021/2/12～2/19
長久手市 愛・地球博記念公園（モリコロパーク）



2020/12/11-12/13
西尾市 中心部



【3-3 健康長寿あいちの実現】

- LINE 公式アカウント「愛知県-新型コロナ対策パーソナルサポート」の運用
(<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/line-1.html>)

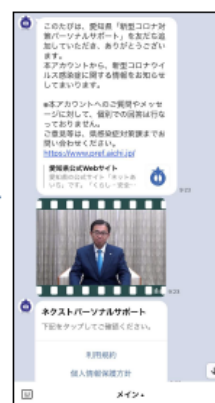
2019 年度に開設した LINE 公式アカウントにおいて、2020 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供、新型コロナ対策に関する各種 Web サイトや自動応答機能等を活用した各種相談窓口への案内等を行いました。

利用方法

※画像は、サンプルです

県公式Webサイト、SNS、LINE
アプリから「友だち」登録

「愛知県-新型コロナ対策パーソナルサポート」を利用



友だち登録者数：347,985 人（2021 年 3 月 31 日時点）



【3-4 女性の活躍促進・子育て支援】

ワーク・ライフ・バランスの推進

- テレワーク環境の整備

2020 年 4 月に設置した「業務改善チーム」において、テレワークの運用について検討を行いました。2019 年度の試行時に配備した 100 台のテレワーク用端末と、2020 年 12 月末までに追加配備された 1,000 台の端末を活用して、2021 年 1 月から在宅勤務の一層の推進を図りました。

テレワーク用端末導入数：1,000 台（前年度からの合計 1,100 台）

【3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現】

魅力ある授業の実施

- 児童生徒用タブレット端末の整備
文部科学省のGIGAスクール構想(※)に基づき、1人1台端末を活用した教育を実現するため、県立学校の全普通教室への校内ネットワークの整備及びタブレット端末の整備を行いました。

児童生徒用タブレット端末の整備台数

高等学校：40,000台(全生徒数の約1/3) 特別支援学校：5,836台(1人1台)

(※) GIGA スクール構想

GIGA = Global and Innovation Gateway for All の略。

1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるとした構想。

Webサイトを通じた学校・図書館・生涯学習情報の提供

- 「貴重和本デジタルライブラリー」の拡充
(<https://websv.aichi-pref-library.jp/wahon/index.html>)



愛知県図書館が所蔵する近世及び近代初期の貴重和本を電子画像で提供する取組を2011年度から行っています。2020年度は22冊(19タイトル)が追加され、合計で675冊(221タイトル)が公開されました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出自粛が続く中、来館せずに所蔵資料を利用できるサービスに注目が高まり、前年度の1.5倍のアクセスがありました。

追加公開数：22冊(19タイトル)

アクセス数：41,990回



【3-6 「環境首都あいち」の実現】

廃棄物保管状況の確認の高度

- ドローンを利用した産業廃棄物の確認
障害物により地上からの確認が困難である産業廃棄物保管場所について、ドローンを活用して、上空からの撮影を実施しました。

IV ICT 基盤強化

クラウドの普及、マイナンバー制度の導入、増大するサイバー攻撃の脅威など大きく変化するICT環境に適切に対応するとともに、ICTを活用した情報基盤のより一層効果的・効率的な運用が求められています。このため、自治体クラウドの推進やマイナンバー制度の導入などに際し、セキュリティを確保しつつ行政コストの低減や業務の改善を図っていきます。

【ICT 戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
4-1 自治体クラウドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内クラウド ・市町村におけるクラウド導入の支援
4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー制度への対応 ・業務プロセス改善
4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの活用・更新 ・情報システムの適正調達の推進

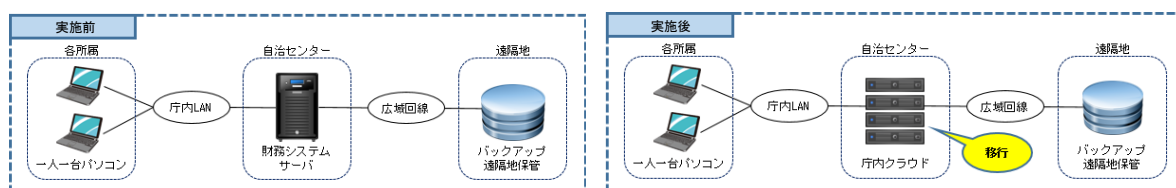
【4-1 自治体クラウドの推進】

庁内クラウド

● 庁内クラウドへの移行

IT経費の削減、情報システムの安定的な稼働及び効率化を目的とし、汎用コンピュータに換わる業務システム基盤として共通サーバシステム（庁内クラウド）を2014年4月から稼働しています。2020年度は、3システムの移行を行いました。

その中の1つである財務システムは、令和3年1月に庁内クラウドに移行しました。庁内クラウドへの移行により、財務システム専用で賃借していたサーバ機器が不要となり、経費の削減につながりました。



【4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善】

マイナンバー制度への対応

- マイナンバーカードの普及・活用に関する広報
「マイナンバーカードの普及・活用」を促進するため、広報紙やテレビ・ラジオなどを活用した広報を行うとともに、「マイナンバーカードを活用した消費活性化策」について、新聞広告や各種 SNS などにより幅広く広報を実施しました。

【4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化】

情報システムの活用・更新

- 全所属を対象とした音声認識システムの運用
愛知県庁内の共通業務を効率化し、総勤務時間の縮減を図るため、会議録作成事務の省力化に資する音声認識システムを 2019 年 4 月から本格導入し、2020 年度も継続して利用しました。
- RPA システムの本格導入
行政事務の効率化に資する RPA の導入に向けて、これまでに実証実験（2018 年度）及び試行導入（2019 年度）に取り組みました。その結果、職員の業務負担軽減効果が確認できたため、2020 年度から本格導入を行い、18 業務に導入しました。
(注 RPA : Robotic Process Automation の略。パソコン上で定型業務を自動処理するプログラム)

導入業務：18 業務

V データ社会への対応

今後ますます急速に進行する「データ社会」に対応するため、行政が保有する統計情報などの様々なビッグデータや民間企業・大学などの研究機関等が保有するビッグデータの分析・解析結果を、県の計画策定や施策立案等の行政運用にも活用していきます。また、進化するIoTへの対応を見据え、新たな産業の創出に役立てるよう、県が保有するデータを広く公開するオープンデータを推進します。

【ICT戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
5-1 オープンデータの推進	・オープンデータの推進
5-2 ビッグデータの活用	・ビッグデータの活用
5-3 IoTへの対応	・IoTへの対応

【5-1 オープンデータの推進】

オープンデータの推進

- オープンデータカタログの充実
(<https://www.pref.aichi.jp/life/7/>)

2020年度末時点での公開ジャンル数は47増えて210件、公開データ数は787件増えて5,323件となりました。

また、県と県内市町村(名古屋市を除く)で設立した「あいち電子自治体推進協議会」が2017年3月に開設した、「あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ」(<https://www.e-aichi.jp/opendata.html>)と相互リンクを設定しています。このWebサイトは、愛知県と県内市町村が提供するオープンデータの一覧を見ることができ、各自治体のオープンデータのページに遷移できるようになっています。



【5-3 IoTへの対応】

IoTへの対応

- 「愛知県IoT推進ラボ」
(<https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-pref-iot/>)

愛知県では2016年7月に「愛知県IoT推進ラボ」を設立し、県内中小企業の生産性向上や事業拡大のためデジタル技術の活用促進に取り組んでいます。

2020年度は、最近のデジタル技術の動向や先進企業の事例紹介などを通して、経営者の理解を深め、デジタル技術の活用を考えてもらうことを目的に、中小企業等を対象としたデジタル技術活用セミナーや、IoT導入・活用研修会、産業用ロボット導入支援のための研修会をオンライン等で開催しました。



セミナー・研修会参加者：合計136名

愛知県官民データ活用推進計画

【施策項目】

項目	施策の展開
(1) オープンデータの推進に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛知県史」のオープンデータ化 ・交通事故情報のオープンデータ化の推進 等
(2) 行政デジタル化に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化の推進 等
(3) 行政手続オンライン原則化に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続の棚卸し ・オンライン手続の原則化 等
(4) マイナンバーカードの普及及び活用に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの普及・活用に関する広報 ・マイキープラットフォーム構想の推進
(5) デジタルデバイド是正に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県公式 Web サイトの Web アクセシビリティ対応状況調査等
(6) その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業・団体へのテレワークの促進・普及 等

(1) オープンデータの推進に係る取組

● 「愛知県史」のオープンデータ化

(<https://kobunshokan.pref.aichi.jp/prefecture/opendata/>)

2018年度から『愛知県史』に掲載されている遺跡一覧・網文一覧・細目次一覧・文化財等一覧といったデータを公開する取組を行っています。2020年度は『愛知県史 資料編』「近代」12巻分、「現代」1巻分の再目次一覧をオープンデータとして公開しました。

公開資料データ数：合計6,617点



(2) 行政デジタル化に係る取組

● ペーパーレス化の推進

資料のデータ化や用紙使用量の削減、業務の効率化等を図るため、会議でのペーパーレス化を支援しました。本庁で行う会議を対象に、タブレット端末で会議資料を閲覧できるペーパーレス会議システムの利用促進に取り組みました。

(3) 行政手続オンライン原則化に係る取組

● 行政手続の棚卸し

県の行政手続等のオンライン化等に係る実態調査を実施しました。行政手続のオンライン化の状況や課題を整理し、県の行政手続等のオンライン化に向けての方針の検討を行いました。

(4) マイナンバーカードの普及及び活用に係る取組

● マイナンバーカードの普及・活用に関する広報（再掲P19）

(5) デジタルバйд是正に係る取組

● 県公式WebサイトのWebアクセシビリティ対応状況調査

(<https://www.pref.aichi.jp/site/userguide/accessibility-check.html>)

県公式Webサイト「ネットあいち」について、高齢者や障害者等に配慮したウェブコンテンツの設計指針である日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」のガイドラインに基づき選定したページを対象に、アクセシビリティ対応状況についての調査を実施しました。

誰もが「ネットあいち」から愛知県の情報を取得できるよう、文字拡大や音声読み上げに対応したページ作りへの取り組みを行いました。

日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」レベルAA 準拠ページ率：97%



(6) その他の取組

● 県内企業・団体へのテレワークの促進・普及

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rodofukushi/telework-site.html>)

テレワークの導入による企業の持続的発展と、働く人のワーク・ライフ・バランスの実現を目指すため、県内企業・団体を対象に、導入事例の情報発信やテレワークを体験する研修（テレワーク・スクール）を実施しました。



(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧

- ◆ **あいち ICT 戦略プラン 2020**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/plan2020-1.html>
愛知県の情報通信を活用した施策の総合指針です。
- ◆ **愛知県官民データ活用推進計画**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/kanmin-keikaku.html>
本県における官民データの活用の推進を目的とした計画です。「あいち ICT 戦略プラン 2020」の一部として策定しました。
- ◆ **あいちビジョン 2020**
<https://www.pref.aichi.jp/kikaku/aichivision2020color/aichivision2020color.html>
2030 年頃の社会経済を展望し、2020 年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示す「あいちビジョン 2020」について掲載しています。
- ◆ **世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画**
<https://cio.go.jp/data-basis>
全ての国民がデジタル技術とデータ利活用の恩恵を享受するとともに、安全で安心な暮らしや豊かさを実感できるデジタル社会の実現に向けた、政府全体のデジタル政策を取りまとめた IT 戦略です。
- ◆ **あいち DX 推進プラン 2025**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/plan2025-1.html>
「あいち ICT 戦略プラン 2020」に続く愛知県の情報通信を活用した施策の総合指針です。
- ◆ **あいちビジョン 2030**
<https://www.pref.aichi.jp/kikaku/aichivision2030color/aichivision2030color.html>
2040 年頃の社会経済を展望し、2030 年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す「あいちビジョン 2030」について掲載しています。
- ◆ **あいち行革プラン 2020**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/somubu-somu/gyoukaku-plan2020.html>
「人財力」を強化しながら、「しなやか県庁」を「スピーディーでしなやかな県庁」へ進化させ、「日本一元気な愛知」づくりを推進する行財政運営の実現を目指す「あいち行革プラン 2020」について掲載しています。
- ◆ **あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/0000085106.html>
県内の無料公衆無線 LAN 環境の整備促進等を図るため、官・民が連携した組織です。観光施策の推進や防災対策等のため、無料公衆無線 LAN の整備促進、周知広報等を行っています。

- ◆ **愛知県のスポーツ情報ポータルサイト aispo!web**
<http://aichi-sports.jp/>
県内で開催される各種スポーツ大会の参加者や観戦者の増加及び本県のプロスポーツチーム・実業団スポーツチームのファンや試合観戦者の拡大のため、Web サイトやSNS を活用した情報発信を行います。
- ◆ **国際芸術祭「あいち2022」**
<https://aichitriennale.jp/>
国際芸術祭「あいち2022」の公式Web サイトです。
- ◆ **愛知の住みやすさ発信サイト**
<https://www.pref.aichi.jp/chiho-bosei/sumiyasusa/>
「愛知の住みやすさ」を統計データ等で紹介しています。
- ◆ **あいち・なごやスタートアップ海外連携促進コンソーシアム**
<https://www.aichi-nagoya-startups.jp/>
県内スタートアップの海外展開や県内企業と海外スタートアップとの連携に向けた支援について掲載しています。
- ◆ **知の拠点あいち 重点研究プロジェクト**
<http://www.astf-kha.jp/project/>
知の拠点あいち重点研究プロジェクトについて掲載しています。
- ◆ **組込みシステム科**
<https://www.aichivti.ac.jp/site/nagoya/1027.html>
名古屋高等技術専門校の組込みシステム科の紹介ページです。
- ◆ **「スマート農業実証プロジェクト」について**
https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/smart_agri_pro.htm
「スマート農業実証プロジェクト」の紹介ページです。
- ◆ **あいちのスマート林業の推進**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/ictringyou.html>
あいちのICT 林業活性化構想について掲載しています。
- ◆ **【知事会見】あいちオープンイノベーションアクセラレーター事業の成果について**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/startup/result-accelera20.html>
あいちオープンイノベーションアクセラレーター事業の成果の概要を掲載しています。
- ◆ **サイバーポリスゲーム【デジタル版】**
<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/game/digitalgame.html>
サイバーポリスゲームのデジタル版とゲームの説明を掲載しています。

- ◆ **令和2年度自動運転社会実装プロジェクト推進事業実施成果報告（概要版）**
<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/373464.pdf>
自動運転の実証実験結果について掲載しています。
- ◆ **愛知県—新型コロナ対策パーソナルサポート**
<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/line-1.html>
愛知県 LINE 公式アカウント「愛知県—新型コロナ対策パーソナルサポート」のページです。
新型コロナウイルス感染症に関する情報提供等を行っています。
- ◆ **貴重和本デジタルライブラリー**
<https://websv.aichi-pref-library.jp/wahon/index.html>
愛知県図書館が所蔵する近世及び近代初期の貴重和本を電子画像にて提供しています。
- ◆ **愛知県オープンデータカタログ**
<https://www.pref.aichi.jp/life/7/>
愛知県が所管する情報の提供サービスを行っています。
- ◆ **あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ**
<https://www.e-aichi.jp/opendata.html>
愛知県と県内市町村がオープンデータとして提供しているデータのまとめサイトです。
- ◆ **愛知県IoT 推進ラボ**
<https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-pref-iot/>
「愛知県IoT 推進ラボ」についての情報を掲載しています。
- ◆ **愛知県史について オープンデータ**
<https://kobunshokan.pref.aichi.jp/prefecture/opendata/>
『愛知県史』に掲載されている遺跡一覧・網文一覧・細目次一覧・文化財等一覧等のデータを公開しています。
- ◆ **令和2年度実施 JIS X 8341-3:2016 に基づく試験結果について**
<https://www.pref.aichi.jp/site/userguide/accessibility-check.html>
愛知県公式 Web サイト「ネットあいち」のアクセシビリティ対応状況調査の結果について掲載しています。
- ◆ **「テレワーク」の導入促進について**
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rodofukushi/telework-site.html>
「テレワーク」の導入に向けた県の支援制度等を紹介しています。